

附 錄 日本外交文書 大正二年第一冊 日附索引

大正二年 第一冊 (西曆一九一三年) 日附索引

一 月

事項番号 文書番号

一〇	一八〇	一月 六日	在伯国藤田臨時代理公使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	伯国行本邦移民会社競争ノ弊害ニ付 事情ヲ具陳シ多数会社ニ許可ヲ与ヘ ザル様稟請ノ件	二三八
二	六二	一月 七日	在米国珍田大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	臘舘獸保護条約実施法改正ニ関スル 米国政府ノ意図ニ付報告ノ件	四一
	附屬書		臘舘獸陸獵禁止ノ可否調査報告書		四一
一五	三一九	一月 七日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	露支關係ニ関スル露国政府機關紙 「ロシヤ」ノ論說抄訳報告ノ件	四二〇
一	一一	一月 八日	在オタワ中村總領事ヨリ 桂兼任外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約ニ加入問 題調査ノ進行状態ニ関スル件	一
二	六三	一月 十日	在米国珍田大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	臘舘獸保護条約実施法改正ノ必要ニ 関スル米国大統領特別教書報告ノ件	四九
	附屬書		右米国大統領特別教書		五〇

二	六四	一月十一日	在米國珍田大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	臘肭獸保護條約實施法ノ米國本期議 會ニ於ケル改正見込薄ノ旨報告ノ件	五八
一三	二四〇	一月十一日	山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 倉知外務次官宛	朝鮮總督謀殺事件公判及在鮮米國宣 教師ノ態度ニ関スル米國聯合通信東 京支局主幹ノ談話通報ノ件	三四八
一〇	一八一	一月十五日	在伯國藤田臨時代理公使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	「サンパウロ」州珈琲耕地移民ニ関 スル安藤技師ノ意見書送付ノ件	二三九
附屬書 安藤技師意見書……………					二三九
一三	二四一	一月十六日	桂兼任外務大臣ヨリ 在英國小池臨時代理大使宛	朝鮮總督暗殺陰謀裁判ニ關聯シ朝鮮 覆審法院ノ權限説明ノ件	三四九
九	一六九	一月十七日	在リマ伊藤領事館事務代理ヨ リ桂兼任外務大臣宛	森岡移民会社扱移民送金延着ノ実例 報告ノ件	二三〇
一五	四五八	一月十七日	在露國田付臨時代理大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛(電)	蒙藏條約締結ノ報道ニ関シ報告ノ件	五八二
六	九三	一月二十日	在バンクーバー矢田領事ヨリ 桂兼任外務大臣宛	「サスカチワン」州ノ東洋人ニ依ル 白婦人使用禁止法ノ修正ニ依リ問題 円満解決ノ件	一〇七
附屬書 一月十五日附「サ」州司法次官ヨリ矢田領事宛書翰写 右禁止法ノ修正法送付ノ件……………					一〇八
一五	四五九	一月二十日	在哈爾濱資本多總領事ヨリ 桂兼任外務大臣宛(電)	蒙藏條約調印ノ報道ニ付報告ノ件	五八二
一三	二四二	一月二十一日	在紐育沼野總領事代理ヨリ 加藤外務大臣宛	朝鮮陰謀事件ニ關聯シ紐育「ヘラル ド」ノ聯合通信社ニ對スル謝罪社説 ニ付統報ノ件	三四九
一五	三三〇	一月二十一日	在中國伊集院公使ヨリ 桂兼任外務大臣宛(電)	露蒙問題ノ成行ニ関スル袁世凱及趙 秉鈞ノ談話並露國提議及中國對案ノ 大要報告ノ件	四二一
一五	三三一	一月二十一日	在英國小池臨時代理大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	西藏ヲ英露共同保護ノ下ニ置クトノ 新聞報道ニ関スル英國下院ニ於ケル 質問応答報告ノ件	四二三
一	二	一月二十三日	在オタワ中村總領事ヨリ 桂兼任外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日英通商條約加入問題 調査ハ近ク結論ニ達スベキ旨「カナ ダ」商務大臣談話ノ件	一
九	一七〇	一月二十三日	川上警視總監ヨリ 坂田通商局長宛	森岡移民合名会社ノ保管スル移民積 金ニ関スル件	二三一
一五	三三二	一月二十五日	在露國田付臨時代理大使ヨリ 桂兼任外務大臣宛	蒙古使節ノ露都ニ於ケル動靜及使命 ニ関スル件	四二三
一二	二〇七	一月二十七日	桂兼任外務大臣ヨリ 寺内朝鮮總督宛	在鮮各國居留地整理ノ下協議ニ関シ 在本邦獨國大使ヨリ申越ノ件	二九七
四	八三	一月二十八日	在シアトル高橋領事ヨリ 桂兼任外務大臣宛	東海丸船体無償交付方「キーファー」 弁護士ノ申出ニ関スル件	八五
附屬書 右「キーファー」申出ノ書翰写……………					八五
九	一一一	一月三十日	在リマ森領事ヨリ 加藤外務大臣宛	森岡移民合名会社取扱「ペルー」國 行第二十二回移民到着ノ件	一七一

二 月

一	三	二月一日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	日加間ノ移民問題解決ハ日米間ノ移民問題処理方法ニ準ジタキ旨「カナダ」首相談話ノ件	二
二	六五	二月三日	加藤外務大臣ヨリ 在米国珍田大使宛(電)	臘舘獸保護条約実施法ノ米国当期議會ニ於ケル修正ノ見込問合ノ件	五九
二	六六	二月三日	在米国珍田大使ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	臘舘獸保護条約実施法ノ修正ハ米国本期議會ニ於テ見込薄ノ件	五九
九	一二二	二月三日	森岡移民合名会社ヨリ 加藤外務大臣宛	「ペルー」国「カニエテ」耕地行契約移民ニ関スル書面契約案承認願提出ノ件	一七二
一	四	二月四日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	「カナダ」ハ日加間ノ移民問題ニ関シ米国ト同一ノ方法ヲ採用スベキ旨「カナダ」首相言明ニ付請訓ノ件	三
一	五	二月六日	加藤外務大臣ヨリ 在オタワ中村総領事宛(電)	「カナダ」現行移民条令原文郵送方ノ件	四
一	六	二月六日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	「カナダ」現行移民条令ニハ差別的規定ナキ件	四
一	七	二月六日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	移民ニ関スル「カナダ」首相ノ提案ニ付稟申ノ件	五
一五	三三三	二月六日	加藤外務大臣ヨリ 總理陸軍、海軍名大臣、陸軍參謀總長、海軍軍令部長、朝鮮總督及關東都督宛	露蒙協約及附屬議定書並露国政府ノ宣言書各訳文送付ノ件	四二七
一五	四六〇	二月六日	在中國伊集院公使ヨリ 加藤外務大臣宛	蒙藏条約締結ニ関スル件	五八二
一	八	二月七日	加藤外務大臣ヨリ 在オタワ中村総領事宛(電)	「カナダ」ノ日本移民制限方式ニ関シ訓令ノ件	五
一	九	二月七日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日本移民制限方式ニ関スル訓令ニ付更ニ請訓ノ件	五
九	一七一	二月七日	内田外務大臣ヨリ 在リマ伊藤領事館事務代理宛	森岡移民合名会社ノ保管スル移民積金ニ関スル件	二三二
一	一〇	二月八日	加藤外務大臣ヨリ 在オタワ中村総領事宛(電)	移民ニ関シ「カナダ」ノ正式申込ヲ見タル上訓令スベキ件	六
一	一一	二月八日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	移民問題解決方法ヲ提示シタル「カナダ」首相書翰案内示ノ件	六
一	一二	二月八日	在オタワ中村総領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約加入及移民問題ニ関シ「カナダ」首相ヨリ正式申込ニ付請訓ノ件	七

別 電

同日中村総領事發加藤外務大臣宛電第一号
「カナダ」首相ヨリ中村総領事宛書翰全文

二 同右來電第一二号
右書翰ニ附屬ノ法律案文

三 同右来電第一三三号

「カナダ」首相ヨリ中村総領事宛機密書翰全文……………八

一五 三二四 二月 八日 在哈爾濱本多總領事ヨリ 庫倫政府内務大臣及内閣副議長海拉爾及哈爾濱ニ向ケ出發ノ件……………四三二

一五 三二五 二月 八日 在浦潮野村總領事代理ヨリ 露蒙關係新聞記事訳報ノ件……………四三三

一 一三 二月 九日 在オタワ中村總領事ヨリ 「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル「カナダ」首相ノ申越ニ全面同意方稟申ノ件……………一〇

一四 二四六 二月 十日 在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 「メキシコ」市ニ革命騒動勃発シ大統領家族日本公使館ヘ避難ニ付其措置振請訓ノ件……………三六〇

一五 三二六 二月 十日 在露国田付臨時代理大使ヨリ 蒙古使節ノ動靜ニ関スル新聞報道ニ付報告ノ件……………四三六

一 一四 二月 十二日 在オタワ中村總領事宛(電) 「カナダ」移民法ハ日本人ニ区别的待遇ヲ為サザル旨ノ保障要請ノ可否ニ関シ意見問合ノ件……………一一

一 一五 二月 十二日 在オタワ中村總領事ヨリ 「カナダ」ハ日本人ニ区别待遇ヲ為サズトノ保障ヲ要請スル必要ナキ件……………一一

一四 二四七 二月 十二日 在露国堀口臨時代理公使宛(電) 日本公使館ニ避難セル大統領家族ノ取扱振ニ付回訓ノ件……………三六〇

一 一六 二月 十三日 在オタワ中村總領事ヨリ 「カナダ」首相ノ申越ニ関シ回訓ノ時間問合ノ件……………一二

一四 二四八 二月 十三日 在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 日本公使館ニ「メキシコ」大統領家族避難ノ事情等報告ノ件……………三六〇

一五 三二七 二月 十三日 在哈爾濱本多總領事ヨリ 庫倫政府特使ノ海拉爾及哈爾濱ニ向ケ出發ノ目的ニ関スル件……………四三八

一四 二四九 二月 十四日 在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 「メキシコ」市ニ於テ叛軍官軍間激戦ノ件……………三六一

九 一二三 二月 十五日 坂田通商局長ヨリ 「ペルー」国「カニエテ」耕地行契約移民書面契約案承認通知ノ件……………一七二

一五 三二八 二月 十五日 在露国田付臨時代理大使ヨリ 蒙古使節ノ動靜ニ関スル件……………四四〇

一五 四六一 二月 十五日 在露国田付臨時代理大使ヨリ 蒙藏条約ニ関スル件……………五八六

附屬書一

一月十九日附露国全權「コロストロウエツ」ヨリ 同国外相宛公信和訳文……………五八七

二 一月十一日庫倫ニ於テ調印ノ蒙藏条約和訳文……………五八八

一 一七 二月 十六日 在オタワ中村總領事宛(電) 「カナダ」首相ノ申越ニ関スル回訓遅延ノ件……………一二

一 一八 二月 十六日 在オタワ中村總領事ヨリ 「カナダ」議會ノ情勢ニ鑑ミ速ニ回訓アリタキ旨稟申ノ件……………一二

一 一九 二月 十八日 在バンクーバー矢田領事ヨリ 「カナダ」商務大臣濠洲ヘ出張ノ途次「バンクーバー」立寄ト日本移民制限問題ニ関スル件……………一三

一四	二五〇	二月十八日	在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	官軍総指揮官叛軍ト通ジ大統領及内閣員ヲ逮捕ノ件……………三六一
五	九一	二月十九日	在ニコラエウスク緒方領事館 事務代理ヨリ 桂兼任外務大臣宛	「ニコラエウスク」方面ニ於ケル邦人買魚不可能ノ状況並同地島田ノ打開策ニ関スル件……………九五

附屬書

二月十八日附島田元太郎氏陳情書 島田ノ露国式製魚開始ノ計画ニ対スル露人業者ノ妨害ニ付願出ノ件……………九七
--

附記

大正元年十二月二十七日附緒方事務代理ヨリ桂兼任 外務大臣宛公信第二三〇号 「ニコラエウスキー」漁業組合創立ト同組合規約訳報ノ件……………九八
--

一二	二〇八	二月十九日	寺内朝鮮總督ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	在鮮各国居留地整理ニ関スル下協議會開始ノ件……………二九七
----	-----	-------	------------------------	-------------------------------

一五	三二九	二月十九日	在哈爾濱資本多總領事ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	庫倫政府特使海拉爾ヨリ引返シノ件……………四四二
----	-----	-------	----------------------------	--------------------------

九	一二四	二月二十日	牧野外務大臣ヨリ 在リマ森領事宛	「ペルー」国「カニエテ」耕地行移民書面契約案承認ノ件……………一七三
---	-----	-------	---------------------	------------------------------------

一四	二五一	二月二十日	在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	大統領家族日本公使館ニ再度避難ノ件……………三六一
----	-----	-------	-----------------------------	---------------------------

一四	二五二	二月二十日	在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	「メキシコ」大統領及副大統領辭職シ「ウエルタ」將軍飯大統領ニ任命ノ件……………三六一
----	-----	-------	-----------------------------	--

一四	二五三	二月二十二日	在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 加藤外務大臣宛(電)	飯大統領「ウエルタ」内閣成立並「メキシコ」国上下ノ良好ナル対日感情ニ関スル件……………三六二
----	-----	--------	-----------------------------	--

四	八四	二月二十六日	在シアトル高橋領事ヨリ 牧野外務大臣宛	米国官憲拿捕ノ東海丸ニ関シ「アラスカ」弁護士「リッチー」ノ損害要償事件解決ノ件……………八七
---	----	--------	------------------------	--

九	一二五	二月二十六日	安楽警視總監ヨリ 牧野外務大臣宛	森岡扱ノ「ペルー」国「カニエテ」耕地行移民募集予定報告ノ件……………一七三
---	-----	--------	---------------------	---------------------------------------

一	二〇	二月二十七日	牧野外務大臣ヨリ 在オタワ中村總領事宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル「カナダ」首相ノ書翰ニ対スル回答ニ付訓令ノ件……………一四
---	----	--------	---------------------------	---

別電一

同日牧野外務大臣宛中村總領事宛往電第八号 「カナダ」首相ノ書翰ニ対スル回答案……………一五
--

二

同右往電第九号 「カナダ」首相ノ機密書翰ニ対スル回答案……………一五

一	二二	二月二十七日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「カナダ」首相ノ書翰日附報告ノ件……………一六
---	----	--------	---------------------------	-------------------------

一	二二	二月二十七日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル「カナダ」首相ノ書翰ニ対スル返翰案ニ付所見具申ノ件……………一七
---	----	--------	---------------------------	--

別電

同日中村總領事宛牧野外務大臣宛來電第二三三号 右返翰案ノ改訂案……………一八

一	二三	二月二十七日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル「カナダ」首相ノ機密書翰ニ対スル回答案中ノ字句ニ関スル件……………一八
---	----	--------	---------------------------	---

九	一二六	二月二十七日	安楽警視總監ヨリ 坂田通商局長宛	「ペルー」国「カニエテ」耕地行契約移民ニ配布スベキ印刷物認可願ノ件……………一七四
---	-----	--------	---------------------	---

附屬書

二月十九日附森岡移民会社ヨリ警視總監宛認可願書……………一七四

一四 二五四 二月二十七日

在墨国堀口臨時代理公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

墨国前大統領及副大統領殺害セラレタル件……………三六二

一五 三三〇 二月二十七日

在長春本部領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

庫倫特使ノ件ニ関シ本多総領事「ホルワット」將軍ニ内談ノ件……………四四三

一 二四 二月二十八日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」首相ノ機密書翰ニ対スル回答案中ノ字句ニ関スル件……………一九

一五 三三一 二月二十八日

在哈爾濱本多総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

庫倫特使ノ再度ノ日本行希望ニ対シ庫倫帰還方勸告シタル旨報告ノ件……………四四三

一五 三三二 二月二十八日

在長春本部領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

庫倫特使ニ関スル「ホルワット」將軍ノ措置振並謀報及判断等ニ付同將軍談話ノ件……………四四四

一五 三三三 二月二十八日

在哈爾濱本多総領事ヨリ
牧野外務大臣宛

北滿ニ於ケル露国増兵ノ風説ニ関スル件……………四四五

附屬書

二月二十八日附本多総領事ヨリ在奉天落合総領事宛公領機密第四九号写……………四四六
同右件

三 月

一 二五 三月一日

在オタワ中村総領事宛(電)
牧野外務大臣ヨリ

「カナダ」首相ノ書翰ニ対シ前電訓令ノ通り措置方訓令ノ件……………一九

一 二六 三月一日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」首相ノ機密書翰ニ対スル回答案中ノ字句ニ付再稟申ノ件……………一九

一 二七 三月一日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル「カナダ」首相ノ書翰ニ対スル返翰ヲ同首相ニ手交ノ件……………二〇

九 一七二 三月一日

坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

森岡会社扱「ペルー」移民送金遅著ニ関シ同会社代表者ニ諭達方ノ件……………二三三

一 二八 三月二日

在オタワ中村総領事宛(電)
牧野外務大臣ヨリ

「カナダ」首相ノ機密書翰ニ対スル回答字句ノ件……………二二

一 二九 三月二日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル往復文書中ノ非公表文書ニ関スル件……………二二

一 三〇 三月三日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ際シ日本移民ニ関シテ為スベキ宣言ノ時期ニ付「カナダ」首相ト協議ノ件……………二二

一五 三三四 三月四日

福田関東都督府参謀長ヨリ
松井外務次官宛

庫倫特使ノ使命ニ関スル謀報報告ノ件……………四四七

一 三一 三月五日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」議會混乱ニ付「カナダ」ノ日英通商条約加入法律案ノ附議通過ノ為画策ノ必要アル件……………二二

一 三二 三月五日

在オタワ中村総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関スル「カナダ」首相ノ回答ニ関スル件……………二三

別 電 一

同日中村総領事發牧野外務大臣宛來電第三二号……………二三
右「カナダ」首相ノ回答全文

二 同右米電第三三三号

「カナダ」首相ノ機密書翰全文……………二四

二 六七 三月五日

在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

臘納獸保護條約實施法改正案握リ潰
シノ件……………五九

九 一七三 三月六日

坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

森岡会社扱「ペルー」移民ノ郷里送
金延着ニ付同社取扱人ニ嚴重戒告方
ノ件……………一三三

一四 二五五 三月六日

在墨國堀口臨時代理公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「メキシコ」仮政府ニ対スル在墨外
交団ノ宣言ニ關スル件……………三六二

一 三三三 三月七日

在オタワ中村總領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」議會ノ議事紛糾ニ關シ報
告ノ件……………二五

九 一二七 三月七日

安樂警視總監ヨリ
牧野外務大臣宛

「ペルー」國「カニエテ」耕地行移
民ニ配布スベキ印刷物認可ノ件……………一七七

一 三四 三月八日

牧野外務大臣ヨリ
在オタワ中村總領事宛(電)

移民問題ニ付「カナダ」首相ノ對議
會説明振ニ關スル件……………二五

六 九四 三月八日

在バンクーバー矢田領事ヨリ
牧野外務大臣宛

「カナダ」「マニトバ」州ニ於ケル東
洋人ノ白婦人使用禁止法案ニ關シ同
政府ヘ交渉ノ件……………一〇九

一五 三三五 三月十日

在中國伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛

露蒙問題ニ關シ露國公使來談ノ件……………四四九

六 九五 三月十一日

在オタワ中村總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

東洋人ニ依ル婦人ノ使用禁止法案
「カナダ」「オンテリオ」州議會ニ提
出ノ件……………一一〇

附屬書

東洋人ニ依ル婦人ノ使用禁止法案……………一一一

九 一七四 三月十三日

安樂警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

在「ペルー」國本邦移民郷里送金延
着ニ關スル件……………一三三

附記

大正元年十二月六日附森岡移民合名会社ヨリ安樂警
視總監宛上申書写……………一三四

一 三五 三月十四日

在オタワ中村總領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日英通商條約加入ニ關
スル法律案修正ノ件……………二五

別電

同日中村總領事發牧野外務大臣宛來電第三八号……………二六

一五 三三六 三月十四日

牧野外務大臣ヨリ
在哈爾濱資本多總領事宛(電)

北滿ヘノ支那兵増派ニ對スル露國側
ノ危惧ニ關シ問合ノ件……………四五一

一五 三三七 三月十四日

在莫斯科川上總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

露支關係ニ關スル新聞記事送付ノ件……………四五一

附記

三月十三日附「ゴース、モスクワイ」紙掲載記事
和訳文……………四五二

一五 三三八 三月十五日

牧野外務大臣ヨリ
在露國本野大使宛(電)

北滿ニ於ケル支那兵増派ノ真相ニ關
シ通報ノ件……………四五三

二 六八 三月十八日

牧野外務大臣ヨリ
在英國小池臨時代理大使宛

米國ノ臘納獸保護條約實施法ニ關シ
英國政府ノ意向照會方ノ件……………五九

附屬書

右實施法ノ米國議會ニ於ケル經過及本件ニ關スル日
本政府ノ措置概要……………六〇

九 一七五 三月十八日

桂兼任外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

在「ペルー」本邦移民郷里送金延着……………一三四

一五 三三九 三月十八日 牧野外務大臣ヨリ 露蒙協約ニ関シ急速解決ノ為支那側ノ意見及見込等聞糺方訓令ノ件 四五四

一五 三四〇 三月十八日 在中国伊集院公使ヨリ 露蒙問題ニ付露支間交渉ニ関スル件 四五四

一五 三四一 三月十九日 在哈爾濱本多總領事ヨリ 北滿方面ヘノ支那増兵ト露国側ノ對抗策ニ関シ報告ノ件 四五六

一五 三四二 三月十九日 在哈爾濱資本多總領事ヨリ 庫倫使節ノ引返シニ際シ露国当局之ガ懷柔策ヲ試ミタル件 四五七

一二 二〇九 三月二十日 牧野外務大臣ヨリ 朝鮮各国居留地整理ノ下協議会ニ「デンマーク」国及埃洪国ヲ参加セシムベキヤ否ヤニ付照会ノ件 二九七

附記 右下協議会ニデンマーク国ヲ招請セザリシ理由ニ付 在本邦露国大使ニ為サレタル説明案 二九九

二 六九 三月二十一日 在米田珍田大使ヨリ 臘臘獸保護条約実施法改正方ニ関シ米田当局者トノ交渉ニ付報告ノ件 六三

六 九六 三月二十二日 在バンクーバー矢田領事ヨリ 婦人使用禁止法ニ関シ交渉ノ件 一一一

附屬書一 三月十七日附マニトバ州司法長官ヨリ矢田領事宛返翰写 東洋人ノ白婦人使用禁止法案及日本人ニ対スル州議會ノ態度ニ関スル件 一一二

二 二月二十六日附同右電報写 右法案州議會通過ノ件 一一三

三 三月二十二日附矢田領事ヨリ「マニトバ」州司法長官宛書翰写 右法律修正方示唆ノ件 一一三

一四 二五六 三月二十三日 在墨国堀口臨時代理公使ヨリ 「メキシコ」革命後ノ政情ニ関シ報告ノ件 三六三

一〇 一八二 三月二十四日 在リオデジャネイロ藤田總領事代理ヨリ 伯国入国移民統計報告ノ件 二四一

附屬書 伯国入国移民統計 二四一

一五 三四三 三月二十四日 在中国伊集院公使ヨリ 露支交渉ハ尚進行中ニ付第三国調停ノ時機ニアラザル旨回報ノ件 四三七

一五 三四四 三月二十四日 在露国田付臨時代理大使ヨリ 支那兵ノ北滿集中ニ対スル露国政府ノ態度ニ関スル件 四五八

一五 三四五 三月二十五日 在中国伊集院公使ヨリ 露蒙問題ニ関シ支那政府ハ平和的解決ヲ希望シ居ル件 四五九

一 三六 三月二十六日 在オタワ中村總領事ヨリ 「カナダ」首相ノ日本条約法案ニ関スル討議會説明振ニ付首相ト打合ノ件 二六

別電一 同日中村總領事發牧野外務大臣宛第四二號「カナダ」首相ヨリ討議會説明案送付ノ書翰 二七

二 同右來電第四三號 右説明案 二七

一 三七 三月二十六日 在オタワ中村總領事ヨリ 日本条約法案ニ関シ「カナダ」首相ヨリ反対党首領ニ内談ノ件 二八

一	三八	三月二十六日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約法案ニ関スル「カナダ」首 相ノ説明案ニ付至急回訓方稟請ノ件	二八
五	九二	三月二十六日	在ニコラエウスク緒方領事館 事務代理ヨリ 牧野外務大臣宛	島田ノ露国式製魚販売計画ニ対スル 露人業者ノ妨害運動立消及両者間ニ 妥協成立ノ件	一〇五
七	一〇七	三月二十六日	在シドニー矢田部総領事代理 ヨリ 牧野外務大臣宛	「オーストラリア」ニ於テ永住権保 有ノ本邦人ヲモ排斥スルノ惡傾向ア ル件	一三五
一五	三四六	三月二十六日	牧野外務大臣ヨリ 在中国伊集院公使宛(電)	露国側ニ対スル挑発的行動ヲ回避ス ル様支那当局者ニ勸告方訓令ノ件	四六〇
一	三九	三月二十七日	牧野外務大臣ヨリ 在オタワ中村総領事宛(電)	日本条約法案ニ関スル「カナダ」首 相ノ説明案ニ異議ナキノ件	二八
一	四〇	三月二十七日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約法案ニ関シ反对党首領ト会 談ノ件	二八
一	四一	三月二十七日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約案ニ関シ發表スベキ彼我往 復公文ニ関スル件	二九
九	一六〇	三月二十七日	在リマ森領事ヨリ 牧野外務大臣宛	東洋移民合資会社取扱「ペルー」国 行移民契約証認ノ件	二〇九
附屬書一 齋藤東洋移民業務代理人ヨリ森領事宛誓約書写……………二二一 二 耕主ヨリ齋藤代理人宛請求書写……………二二一					
三	二一〇	三月二十七日	山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	朝鮮各国居留地整理ノ下協議会ニ 「デンマーク」国参加ノノ理由無キ 旨回答ノ件	二〇〇
一	四二	三月二十八日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約法案「カナダ」議會第一読 会終了並公表文書ニ付「カナダ」首 相ト協議スベキ件	二九
一	四三	三月二十八日	牧野外務大臣ヨリ 在オタワ中村総領事宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関 スル彼我往復文書ノ公表文書ニ関ス ル件	二九
一	四四	三月二十八日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関 スル往復文書公表ニ付「カナダ」首 相ト会谈ノ件	三〇
六	九七	三月二十八日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛	「オンタリオ」州議會ニ提出ノ東洋 人ニ依ル婦人ノ使用禁止法案撤回ノ 件	一一四
一五	三四七	三月二十八日	牧野外務大臣ヨリ 在英国小池臨時代理大使外在 欧各大使及各臨時代理大使宛	露蒙協約ニ関スル露支間交渉最近ノ 經過通報ノ件	四六〇
一五	三四八	三月二十八日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露蒙問題ニ関連シ露国ハ日支借款交 渉説ヲ懸念シ居ル件	四六一
附記					
三月三十一日牧野外務大臣發田付臨時代理大使宛往 電第五二号 日支借款交渉ノ事実ナキ件				………	四六二
一二	二一一	三月二十九日	松井外務次官ヨリ 山県朝鮮總督府政務總監宛 (電)	朝鮮各国居留地整理ノ下協議会ニ 「デンマーク」国不招請ノ理由ニ付 露国総領事ニ説明方ノ件	三〇一
一五	三四九	三月二十九日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露国ト事端ヲ生ゼザル様支那側ニ警 告ノ件	四六二

一五	三五〇	三月二十九日	在本邦露国大使ヨリ 牧野外務大臣宛	北満ニ於ケル支那軍増派ニ関スル日 本政府ノ態度ニ付照会ノ件	四六二
一五	三五一	三月二十九日	牧野外務大臣ヨリ 在中国伊集院公使宛(電)	北満ヘノ支那兵増派ニ関シ露国大使 我政府ノ意見ヲ訊ネタルニ付支那責 任当局ニ対スル措置方訓令ノ件	四六四
一五	三五二	三月三十一日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛	北満支那兵増加問題ニ関シ在本邦露 国大使館参事官「シニキーム」氏談 話ノ件	四六五
一五	三五三	三月三十一日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	北満増兵ノ情報等ニ関シ露国大使ト 会谈ノ件	四六六

四月

三	二二二	四月一日	山県朝鮮總督府政務總監ヨリ 松井外務次官宛(電)	朝鮮各国居留地整理ノ下協議会結了 ノ件	三〇一
一	四五	四月二日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛	「カナダ」ノ日英通商条約加入ニ関 スル我彼ノ公文下院ニ提出セラレタ ルノ件	三〇
一五	三四	四月二日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	北満中国軍増兵ニ関シ在本邦露国大 使来談ノ件	四六七
一	四六	四月四日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約法案「カナダ」議會第二読 会通过ノ件	三〇

四	八五	四月四日	牧野外務大臣ヨリ 在シアトル高橋領事宛	東海丸船体解放ニ付弁護士「キープ ラー」ニ支払フベキ弁護料ニ関シ船 主ヨリ申出ノ件	八七
一五	三五五	四月四日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	中国ノ北満増兵ニ関スル日本政府ノ 意見至急開示ヲ得タキ旨露国外務省 極東課長ヨリ申出ノ件	四六八
一	四七	四月五日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約法案原案ノ儘「カナダ」下 院通過ノ件	三一
三	七四	四月五日	在奥匈国秋月大使ヨリ 牧野外務大臣宛	改正赤十字条約規定ニ基ク我国内閣 係法規ノ仏訳文瑞西政府ヨリ請求ノ 件	七二

附屬書

右請求ノ瑞西国政府来翰写	七二
--------------	----

六	九八	四月五日	在バンクーバー堀領事ヨリ 牧野外務大臣宛	「カナダ」議會ニ於テ討議ノ日英通 商条約加入及日本移民ノ両問題ニ対 スル新聞論調報告ノ件	一一五
一五	三五六	四月五日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	中国ハ北満ニ於テ露国ト難ヲ構フル 意思無キ旨日本ヲ通シ露国ヘ声明ス ルコトニ中国政府賛同ノ件	四六九
一	四八	四月七日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日本条約法案「カナダ」議會通過ニ 際シ帝國政府ヨリ「カナダ」首相ニ 祝詞及謝意表彰方稟請ノ件	三一
一	四九	四月七日	在オタワ中村總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「カナダ」ノ日本条約法近々成立ニ 鑑ミ我移民制限履行ノ必要ニ関スル 件	三二

一五	三五七	四月七日	牧野外務大臣ヨリ 在齋々哈爾吉原領事館事務代理宛	中国ノ北滿増兵ニ関シ露国政府ヨリ 日本政府ノ意見問合アリタル件	四七〇
六	九九	四月八日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛	「サスカチワン」州ニ於ケル東洋人 ノ白婦人使用禁止法改正ハ同州英本 国及「カナダ」領間交渉ノ結果ナル件	一一六
一五	三五八	四月八日	牧野外務大臣ヨリ 在中、露、英、独、仏、埃、 伊、米各国大公使宛	中国ノ北滿増兵ニ関スル在本邦露国 大使ノ覚書写送付ノ件	四七一
一	五〇	四月九日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	移民ニ関スル宣言書ヲ「カナダ」首 相ニ手交ノ日取予定ノ件	三三二
九	一二八	四月九日	在リマ森領事ヨリ 牧野外務大臣宛	森岡移民合名会社取扱「ペルー」国 行第二十三回移民到着ノ件	一七七
一五	三五九	四月九日	牧野外務大臣ヨリ 在本邦露国大使宛	中国政府ハ露国ト北滿ニ於テ事ヲ構 フル意思無キ旨ノ同政府ノ保障轉達	四七一
一五	三六〇	四月九日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使及在 中国伊集院公使宛(電)	中国ノ北滿増兵ニ関スル露国ノ申出 ニ対シ回答ノ件	四七三
一五	三六一	四月十日	牧野外務大臣ヨリ 在奉天落合總領事及在哈爾賓 本多總領事宛	中国ノ北滿増兵ニ関スル露国ノ申出 ニ対シ回答ノ件	四七三
一五	三六二	四月十日	牧野外務大臣ヨリ 在齋々哈爾吉原領事館事務代 理宛	中国ノ北滿増兵ニ関スル露国ノ申出 ニ対シ回答ノ件	四七四
一	五一	四月十一日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「カナダ」總督ノ日本条約法裁可及 移民ニ関スル宣言書ヲ「カナダ」首 相ヘ手交済ノ件	三三二
一	五二	四月十一日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	日英通商条約ヲ「カナダ」ニ適用ノ 期日ニ付「カナダ」首相ト打合ノ件	三三三
一	五三	四月十二日	牧野外務大臣ヨリ 在オタワ中村総領事宛(電)	「カナダ」ノ日本条約法成立ニ関シ 中村総領事及「ボルデン」首相ニ対 シ表祝ノ件	三三三
別電			同日牧野外務大臣 「ボルデン」首相ニ祝意表彰方ノ件	「カナダ」首相移民ニ関スル我宣言 書発表ノ件	三四
一	五四	四月十二日	在オタワ中村総領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	北滿洲支那増兵ニ対スル露国ノ関心 及支那承認問題ニ関シ外務省極東課 長ト会談ノ件	四七四
一五	三六三	四月十五日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	北滿ノ支那増兵ニ関スル露国ノ憂慮 ニ鑑ミ我方ノ対支措置振露国当局者 ニ説明方訓令ノ件	四七五
一五	三六四	四月十五日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	日本ハ露支間ノ調停ニ立ツ意思ナキ 旨英國公使ニ談話ノ件	四七六
一五	三六五	四月十八日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	中国新政府承認ニ関スル日本ノ対列 強提議ハ露蒙問題ノ解決ヲ阻害セザ ル旨在本邦露国大使ヘ説明ノ件	四七六
一五	三六六	四月二十一日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	蒙古問題ヲ繞ル中露宣戰ノ謠言取締 ニ関スル黒竜江都督及大總統問ノ往 復電報新聞掲載ノ件	四七七
一五	三六七	四月二十一日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛		

二 七〇 四月二十二日

在英国小池臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛

米國ノ臘納獸保護条約實施法ニ対ス
ル英國政府ノ態度ニ関シ回答ノ件……………六五

附屬書一 小池臨時代理大使覚書送付状写……………六六

二 英國外務大臣回答……………六七

一二 二二三 四月二十二日

山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛(電)

朝鮮各國居留地整理ノ下協議會議定
書調印済ノ件……………三〇二

一五 三六八 四月二十二日

牧野外務大臣ヨリ
在中国伊集院公使宛(電)

中国新政府承認ニ際シ外蒙古等中国
領域ノ明示問題起ル可能性ノ有無ニ
付在本邦露国大使ト談話ノ件……………四八一

一五 三六九 四月二十二日

在中国伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支交渉ハ蒙古独立取
消問題ニ於テ意見未ダ一致セザル件……………四八二

一五 三七〇 四月二十四日

在中国伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支交渉ノ現状及中国
新政府承認ノ我提案ガ右交渉ヲ阻害
スル虞ナキコトニ付在北京露国公使
ト意見交換ノ件……………四八二

一五 三七一 四月二十四日

在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛

中国ノ北滿増兵ニ関スル露支間ノ交
渉ニ付露国外務省極東課長ノ談話報
告ノ件……………四八三

一五 三七二 四月二十五日

牧野外務大臣ヨリ
在露国田付臨時代理大使宛
(電)

蒙古ニ関スル露支交渉ノ状況及右交
渉ハ中国政府承認問題ト関連セザル
ベキコトニ付在本邦及中国露国大公
使トノ會談通報ノ件……………四八四

一五 三七三 四月二十五日

牧野外務大臣ヨリ
在露国田付臨時代理大使宛
(電)

北滿ノ支那増兵ニ関スル我方ノ对支
措置振至急露国当局者ニ説明方ノ件……………四八五

一 五五 四月二十八日

在オタワ有田總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日本条約法實施ニ関ス
ル布告官報ニ公布ノ件……………三四

一五 三七四 四月二十八日

在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

中国ノ北滿増兵問題ニ関シ我方ノ好
意の斡旋ニ付「コザコフ」ニ説明ノ
件……………四八五

一 五六 四月二十九日

牧野外務大臣ヨリ
在英国小池臨時代理大使宛
(電)

「カナダ」ノ日本条約法實施ニ付英
国政府ニ注意方ノ件……………三四

一 五七 四月二十九日

在英国小池臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「カナダ」ノ日英通商条約加入ヲ我
政府ヘ通告ノ手配ニ関スル件……………三五

一五 三七五 四月二十九日

在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

中国政府承認ニ関スル日本ノ提議及
蒙古ニ関スル露支交渉ニ付「コザコ
フ」氏ト會談ノ件……………四八五

一五 三七六 四月三十日

牧野外務大臣ヨリ
在中国伊集院公使宛(電)

中国ノ北滿増兵問題ニ付我方ノ措置
ヲ露国当局ニ説明シタル件……………四八六

一五 三七七 四月三十日

在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛

中国ノ北滿増兵問題ニ関シ露国外務
省極東課長トノ會談ニ付補足報告ノ
件……………四八七

五月

一 五八 五月一日

在本邦英國大使ヨリ
牧野外務大臣宛

「カナダ」ノ日英通商航海条約加入
ニ関シ通告ノ件……………三五

一 五九 五月五日 牧野外務大臣ヨリ
在英國小池臨時代理大使宛 英國外相ニ表謝方ノ件……………三六
(電)

別 電 同日牧野外務大臣發小池臨時代理大使宛往電……………三六
同右件

一 六〇 五月五日 牧野外務大臣ヨリ
山本總理大臣宛 英領「カナダ」ノ日英通商航海条約……………三六
ニ加入ニ関シ上奏ノ件

附 記 一 五月六日附外務省告示第四号……………三七
二 同右日附官報彙報欄外務省事項……………三七

三 七五 五月五日 牧野外務大臣ヨリ
在壤洪国秋月大使宛 改正赤十字条約規定ニ基ク我國内法……………三七
規仏訳文送付ノ件

九 一七六 五月五日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛 森岡移民合名会社ノ保管スル移民積……………三三四
金ニ関スル件

一 六一 五月六日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦英國大使宛 「カナダ」ノ日英通商航海条約加入……………四〇
ニ関スル通告ニ対シ回答ノ件

一二 二一四 五月九日 寺内朝鮮總督ヨリ
牧野外務大臣宛 在鮮各國居留地廢止下協議會ノ議定……………三〇二
書調印ニ関シ報告並右ニ對スル各國……………三〇二
政府ノ承認取付方依頼ノ件

一二 二一五 五月十日 附 屬 書 在朝鮮各國居留地廢止ニ関スル議定書……………三〇五
寺内朝鮮總督ヨリ 在鮮中國居留地ノ廢止及中國人ノ有……………三一
牧野外務大臣宛 スル永代借地權処分ニ関スル件

附 屬 書 一 在朝鮮中國居留地廢止並中國人ノ有スル永代借地權……………三一
ノ処分ニ関スル覺書

二 右覺書ニ関スル朝鮮總督府小松外事局長ノ口頭説明……………三二
要項

六 一〇〇 五月十五日 在バンクーバー堀領事ヨリ
牧野外務大臣宛 「マニトバ」州ニ於ケル東洋人ノ白……………一一七
婦人使用禁止法案ニ関シ州官憲ヨリ……………一一七
保障ノ件

附 屬 書 四月十七日附マニトバ州司法長官ヨリ堀領事宛書翰……………一一八

一五 三七八 五月十五日 在中國伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛 中國ノ北滿増兵問題ニ関シ在北京露……………四八八
國公使ト陸外交總長トノ交渉ニ付同……………四八八
公使ヨリ内話ノ件

一五 三七九 五月十六日 在中國伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛 蒙古問題ニ関スル露支交渉不進展ノ……………四八九
事情ニ付在北京露國公使談話ノ件

一五 三八〇 五月二十二日 牧野外務大臣ヨリ
在中國伊集院公使及在露國田……………四八九
付臨時代理大使宛(電) 露支間ニ蒙古ニ関スル協約成立ノ風……………四八九
說ニ付実否確メ方訓令ノ件

一五 三八一 五月二十三日 在中國伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電) 蒙古ニ関スル露支交渉未ダ進捗シ居……………四九〇
ラサル旨回電ノ件

一五 三八二 五月二十四日 在露國田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電) 蒙古ニ関スル露支協約ハ未ダ成立セ……………四九〇
ス又日本ノ勢域ヲ侵スコトナキ旨露……………四九〇
國当局者談話ノ件

六 一〇一 五月二十五日 在バンクーバー堀領事ヨリ
牧野外務大臣宛 英領「コロンビア」州官有林伐採ニ……………一一八
日本人使用禁止ニ付請訓ノ件

一五 三八三 五月二十六日 牧野外務大臣ヨリ
在中國伊集院公使宛(電) 露支交渉進行狀況ニ関スル田付代理……………四九〇
大使ノ報告通報ノ件

一五	三八四	五月二十七日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露支交渉進行ノ狀況ニ付陸外交総長 及露国公使ノ談報告ノ件……………	四九一
三	七六	五月二十八日	在奥匈国秋月大使ヨリ 牧野外務大臣宛	改正赤十字条約規定ニ基ク我国内法 規「スイス」聯邦政府へ通告済ノ件……………	七三
七	一〇八	五月二十八日	牧野外務大臣宛ヨリ 在シドニー矢田部総領事代理 宛	「オーストラリア」ニ於ケル日本人 排斥問題ニ関シ訓令ノ件……………	一三六
七	一〇九	五月二十八日	牧野外務大臣ヨリ 在英國小池臨時代理大使宛	「オーストラリア」ニ於ケル日本人 排斥ニ関スル件……………	一三六
一五	三八五	五月二十八日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	蒙古ニ関スル露支交渉進行ノ狀況ニ 付陸外交総長及在北京露国公使ノ談 話通報ノ件……………	四九一
四	八六	五月二十九日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛	東海丸公売ニ決定ノ旨國務省ヨリ通 報ノ件……………	八八
附屬書 四月二十六日附國務省覽書写……………					八八
一五	三八六	五月三十一日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電報)	中国衆議院秘密会ニ於ケル蒙古ニ関 スル露支協定案審議ノ模様報告ノ件……………	四九二
一六	四六二	五月三十一日	在英國小池臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	英國下院委員会ニ於ケル外交諸問題 ニ関スル外務大臣ノ答弁報告ノ件……………	五九一

六 月

一五	三八七	六月一日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	蒙古ニ関スル露支協定案ハ衆議院ヲ 通過スベキモ參議院通過困難ナルベ メ旨報告ノ件……………	四九二
一〇	一八三	六月二日	在伯國藤田臨時代理公使ヨリ 牧野外務大臣宛	本邦移民伯國「サンパウロ」州到着 狀況ニ関スル野田副領事ノ報告書送 達ノ件……………	二四二
附屬書 本邦移民サンパウロ州到着狀況報告書……………					二四三
一五	三八八	六月二日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	中国国会ニ附議セラレタル蒙古ニ関 スル露支協約案ノ性質等ニ付在北京 露国公使ノ談報告ノ件……………	四九三
一五	三八九	六月三日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	蒙古ニ関スル露支協定案ノ中国国会 提出及其審議狀況通報ノ件……………	四九三
九	一二九	六月四日	在リマ森領事ヨリ 牧野外務大臣宛	森岡移民合名会社扱「ペルー」国行 第二十四回移民到着ノ件……………	一七八
一四	二五七	六月六日	在墨國田辺臨時代理公使ヨリ 牧野外務大臣宛	「メキシコ」仮政府承認問題ニ関シ 報告ノ件……………	三六七
一五	三九〇	六月七日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	衆議院ニ於ケル蒙古ニ関スル露支協 定案審議ノ其後ノ狀況通報ノ件……………	四九四
一五	三九一	六月七日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	衆議院秘密會議ヨリ蒙古ニ関スル露 支協約案ヲ政府ニ返戻ノ件……………	四九四
一五	三九二	六月九日	在天津小幡總領事ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関スル露支協約案写送付ノ件……………	四九五

附屬書 右露支協約案写

四九五

一四 二五八 六月十日

在墨国田辺臨時代理公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「メキシコ」政府ノ日本小銃購買ニ
対スル在墨「ドイツ」商人ノ逆宣伝
ニ関シ報告ノ件……………三七一

一五 四六三 六月十日

在奥国西臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛

「アジアトルコ」ニ於ケル列強ノ利
権獲得運動ニ関スル件……………五九二

一〇 一八四 六月十二日

在伯国藤田臨時代理公使ヨリ
牧野外務大臣宛

本邦移民ノ伯国渡航ヲ秋季ニモ行ハ
シムベシトスル野田通訳官ノ意見書
提出ノ件……………二五六

附屬書

右野田通訳官意見書……………

二五七

一五 三九三 六月二十日

牧野外務大臣ヨリ
在天津小幡總領事宛

蒙古ニ関スル露支協約案附屬約款ハ
露蒙協約附屬議定書ト大体同一ト認
メラル、件……………四九八

一五 三九四 六月二十三日

在中国伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛

中国政府ヨリ衆議院ニ提出ノ蒙古ニ
関スル露支協約案關係文書等ノ写送
付ノ件……………四九八

附屬書一

臨時大統領咨文訳文……………

四九八

二 支露商訂蒙事協約節要訳文……………

四九八

三 衆議院特別審査委員会報告訳文……………

五〇六

一二 二一六 六月二十四日

牧野外務大臣ヨリ
山本内閣總理大臣宛

在朝鮮各国居留地制度廃止ニ関スル
下協議会議定ノ議定書是認ニ関シ閣
議請求ノ件……………三二四

附記

右閣議請求ニ対スル八月十五日附内閣總理大臣通達……………三二五

九 一六一 六月二十五日

坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

東洋移民会社提出ノ移民ニ関スル書
面契約案承認ノ件……………二二二

附屬書

書面契約案承認指令書……………

二二二

一二 二一七 六月二十六日

牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛(電)

在朝鮮各国居留地整理ニ関シ中国ニ
対スル交渉方ノ件……………三一五

三 七七 六月二十七日

在本邦瑞西国代理公使ヨリ
牧野外務大臣宛

改正赤十字条約ニ基ク日本ノ關係国
内法規ヲ「スイス」政府ヨリ各締約
国ニ通告済ノ件……………七四

附屬書

右各条約国宛通告ノ公文写……………

七五

一五 二九五 六月二十七日

在中国伊集院公使ヨリ
牧野外務大臣宛

露支間蒙古協約案急速承認ヲ建言セ
ル熱河都統熊希齡ノ密電ニ関スル件……………五〇七

四 八七 六月二十八日

在シアトル高橋領事ヨリ
牧野外務大臣宛

東海丸船体処分ニ関スル件……………九〇

七 月

九 一三〇 七月四日

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民合名会社移民契約証認並移
民ノ選択ニ付稟請ノ件……………一七八

九 一三一 七月九日

森岡移民合名会社ヨリ
牧野外務大臣宛

「ペルー」国「カニエテ」耕地行契
約移民ニ関スル契約期間延期ニ付届
出ノ件……………一八一

九	一三二	七月九日	森岡移民合名会社ヨリ 牧野外務大臣宛	「ペルー」国「パラモンガ」耕地行 契約移民ニ関スル契約書承認願出ノ件	一八二
九	一三三	七月九日	森岡移民合名会社ヨリ 牧野外務大臣宛	大正二年第二回「ペルー」国「カニ エテ」耕地行契約移民ニ関スル契約 書承認願ノ件	一八二
一五	三九六	七月九日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	蒙古ニ関スル露支条約案中国衆議院 通過ノ件	五一〇
九	一三四	七月十日	森岡移民合名会社ヨリ 牧野外務大臣宛	「ペルー」国行契約移民女子年齢及 携帯児ニ関シ承認願出ノ件	一八三
九	一七七	七月十日	坂田通商局長ヨリ 安楽警視總監宛	森岡移民合名会社ノ保管スル移民積 金ニ関シ取調方ノ件	二三五
一五	三九七	七月十一日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	支那官憲ノ一露人拘留事件ニ付袁世 凱ガ露国ノ要求ヲ承諾ノ件	五一一
六	一〇二	七月十二日	牧野外務大臣ヨリ 在オタワ有田總領事代理及在 バンクーバー堀領事各宛	露支懸案ニ付露国ノ執リタル高圧手段ノ実例	五二二
一〇	一八五	七月十二日	在伯國藤田臨時代理公使ヨリ 牧野外務大臣宛	日加人ノ意思疏通ニ関スル将来ノ施 設ニ付意見提出方ノ件	一二三
九	一三五	七月十四日	坂田通商局長ヨリ 安楽警視總監宛	伯國移民ハ寄港地ニ於テ其旅券ニ伯 國領事ノ査証ヲ要スルヤ否ヤニ関ス ル件	二六二
九	一三六	七月十四日	坂田通商局長ヨリ 愛媛県知事宛	雇傭契約ノ年齢制限ニ適合セサル移 民ヲ取扱ヒタル件	一八五
一五	三九八	七月十四日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「ペルー」国行契約移民ノ年齢制限 ニ関シ注意方ノ件	一八五
一五	三九九	七月十五日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露国政府ハ蒙古問題ニ付中国外交總 長ニ對シ新提案ヲ送リタル旨總統府 顧問「モリソン」水野書記官ニ談話 ノ件	五一三
七	一一〇	七月十六日	在シドニー矢田部總領事代理 ヨリ 牧野外務大臣宛	別電一 七月十五日伊集院公使發牧野外務大臣宛第五二〇号 蒙古ニ関スル露支協約案	五一四
九	一三七	七月十六日	坂田通商局長ヨリ 安楽警視總監宛	二 七月十四日伊集院公使發牧野外務大臣宛第五二一号 露国政府ノ新提案	五一五
九	一三八	七月十六日	坂田通商局長ヨリ 安楽警視總監宛	露国ヨリ新ニ提議セラレタル蒙古ニ 関スル露支協約案ニ付在中國英國代 理公使ヘ談話ノ件	五一六
一五	四〇〇	七月十六日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「オーストラリア」ニ於テ永住権保 有ノ日本人排斥ニ関スル件	一三六
一五	四〇一	七月十六日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「ペルー」国「パラモンガ」耕地行 移民ニ関スル書面契約案承認通知ノ件	一八五
一五	四〇一	七月十六日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「ペルー」国「カニエテ」耕地行移 民ニ関スル書面契約案承認通知ノ件	一八六
一五	四〇一	七月十六日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露支条約六ヶ条案中国參議院ニ於テ 否決ノ件	五一六
一五	四〇一	七月十六日	在中國伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露支間ノ蒙古協約案ニ関スル露国ノ 新提案ニ付在中國露国公使來談ノ件	五一六

一五 四〇二 七月十六日 在露国田付臨時代理大使ヨリ
為サレタル露国ノ对中国通告文要領……………五一七
報告ノ件

別電

七月十六日田付臨時代理大使發牧野外務大臣宛電報……………五一七
第五九号
露国政府ヨリ中国政府宛通告文要領

二 七一 七月十七日 在英國井上大使ヨリ
牧野外務大臣宛
臘肭獸保護條約實施ニ關スル米國ノ
法律ハ該條約ニ抵触セズトノ見解ヲ……………六八
英國政府ヨリ回答越ノ件

附屬書

英政府回答写……………六九

一五 四〇三 七月十七日 牧野外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛(電)
蒙古問題ニ關シ露国ヨリ旧協約案ヲ……………五一八
廃棄シ新協約案四条ヲ提議ノ件

別電

七月十七日牧野外務大臣發井上大使宛第一二七号……………五一九
蒙古ニ關スル露支協約案

二 七月十七日牧野外務大臣發井上大使宛第一二八号……………五二〇
露国側新提案

一五 四〇四 七月十七日 在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛
蒙古ニ關スル露支談判不調ニ付露国
政府ヨリ北京政府ニ交付シタル談判……………五二〇
中止ニ關スル通告書報告ノ件

附屬書

右通告書ノ訳文……………五二一

一五 四〇五 七月十七日 在本邦露国大使ヨリ
牧野外務大臣宛
蒙古ニ關スル露支談判中止ニ付通報……………五二三
ノ件

一五 四〇六 七月十八日 牧野外務大臣ヨリ
在中国伊集院公使宛(電)
蒙古ニ關スル露支談判中止ニ付在本
邦露国大使來談ノ件……………五二五

一三 二四三 七月十九日 山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛
朝鮮陰謀事件ニ關シ大邱覆審法院ニ
於テ再審ノ結果原判決懲役十年ノ尹……………三五〇
致昊外五名ニ對シ懲役六年ノ判決ヲ
与ヘタル件

一五 四〇七 七月十九日 在露国田付臨時代理大使ヨリ
在中国伊集院公使宛
蒙古ニ關スル露支協約案及之ニ代ル
露国ノ新提案ノ和訳文送付ノ件……………五二六

一五 四〇八 七月十九日 在露国田付臨時代理大使ヨリ
在中國伊集院公使宛
蒙古ニ關スル露支談判中止ニ付露国
政府ノ对中国政府通告大要及在本邦
露国大使ノ覚書写送付ノ件……………五二六

九 一三九 七月二十一日 坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛
「ペルー」国行契約移民女子年齢及
攜帶児ニ關スル件……………一八六

九 一四〇 七月二十一日 在露国田付臨時代理大使ヨリ
在中國伊集院公使宛
「ペルー」国行契約移民女子年齢及
攜帶児ニ關スル件……………一八七

四 八八 七月二十二日 開盛丸船主白石広造ヨリ
外務省通商局宛
開盛丸船体放棄ニ付証明願出ノ件……………九一

一四 二五九 七月二十二日 在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)
安達公使着任ノ際ノ歡迎振及排米風
潮報告ノ件……………三七三

九 一四一 七月二十三日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛
森岡移民合名会社對「ドミンゴ、パ
リオス」遺産財団ノ本邦移民供給契
約証認ノ件……………一八七

九 一四二 七月二十四日 安樂警視總監ヨリ
牧野外務大臣宛
「ペルー」国「カニエテ」耕地行移
民募集予定報告ノ件……………一八八

九 一四三 七月二十四日 安樂警視總監ヨリ
牧野外務大臣宛
「ペルー」国「パラモンガ」耕地行
移民募集予定報告ノ件……………一八九

九	一四四	七月二十四日	太田福岡県知事ヨリ 坂田通商局長宛	「ペルー」国行契約移民年齢ニ関シ 照会ノ件	一九〇
一五	四〇九	七月二十四日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	蒙古ニ関スル露支交渉ノ行詰リ打開 ノ為ノ在支仏国公使ノ斡旋不成功ノ 件	五二七
一五	四一〇	七月二十五日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露支間ノ蒙古問題交渉ノ停頓ニ付我 方ノ執ルベキ措置ニ関スル件	五二八
一五	四一一	七月二十五日	在中国伊集院公使ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関スル露支協約案ニ対スル中 国々内ノ論議及党争ニ付報告ノ件	五二九
一五	四一二	七月二十八日	牧野外務大臣ヨリ 在露国田付臨時代理大使宛 (電)	露国ガ蒙古ニ関スル露支協約案ヲ廢 棄シ四ヶ条ノ新提案ヲ為シタル内情 探索ニ付訓令ノ件	五三二
四	八九	七月三十一日	外務省通商局ヨリ 開盛丸船主白石広造宛	開盛丸船体放棄事実証明ノ件	九一
附記一					
開盛丸乗組員代理弁護士ヨリ外務省宛願書					
開盛丸乗組員損害金ニ付取調方ノ件					
二 大正三年八月四日附外務省通商局ヨリ右弁護士宛通 送第七〇六号 同右件					
七	一一一	七月三十一日	在シドニー矢田部總領事代理 ヨリ 牧野外務大臣宛	濠洲移住制限法改正ニ関スル件	一三八
附屬書一					
一九〇一年乃至一九一〇年移住制限法改正ノ一九一 二年移住法写					
二 右移住法施行規則写					
					一四六

八月

九	一四五	八月一日	坂田通商局長ヨリ 太田福岡県知事宛	「ペルー」国行契約移民年齢ニ関ス ル件	一九〇
九	一四六	八月一日	坂田通商局長ヨリ 鹿兒島、熊本、沖縄、山梨、 福岡、宮城、広島、愛媛、山 口、大分各県知事宛	「ペルー」国行契約移民年齢ニ関ス ル件	一九〇
九	一七八	八月一日	安楽警視總監ヨリ 坂田通商局長宛	森岡移民合名会社ノ保管スル移民積 金取扱ニ関シ回答ノ件	二三六
一五	四一三	八月二日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	露支間ノ蒙古案ニ付露国ガ四ヶ条ノ 新提案ヲ為シタル事情ニ関シ回電ノ 件	五三二
一五	四一四	八月二日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関シ露国外務当局者内話ノ件	五三三
一五	四一五	八月六日	牧野外務大臣ヨリ 在中国山座公使宛	露支間ノ蒙古問題交渉ニ関スル在露 田付代理大使ノ電報写送付ノ件	五三四
四	九〇	八月七日	在シアトル高橋領事ヨリ 牧野外務大臣宛	東海丸解放後ノ保管費用補償ノ為米 国官憲ニ於テ競売セル件	九三
附屬書一					
七月九日附「アラスカ」裁判所執行官ヨリ「キープ アイ」弁護士宛書翰					
二 七月二十六日附同右					
					九四

一四	二六〇	八月七日	在墨西哥安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國大統領特使「リンド」 派遣非公式通知ニ対シ「メキシコ」 政府態度表明ノ件	三七八
一四	二六一	八月七日	在墨西哥安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國特使「リンド」 問題紛糾ノ虞アルヤノ件	三七五
一四	二六二	八月七日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國特使「リンド」ノ ニ対スル提案ニ関シ在墨日本公使ノ 支援要請ノ件	三七五
九	一七九	八月八日	牧野外務大臣ヨリ 在リマ森領事宛	森岡移民合名会社保管ノ 移民積金取扱ニ関スル件	二三七
一四	二六三	八月八日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國ノ對墨提案ニ付在墨日本公使ノ 支援ヲ要請スル公文ヲ國務長官ヨリ 受領ノ件	三七六
別電 同日珍田大使發牧野外務大臣宛米電第二四六号 右公文					三七六
一四	二六四	八月八日	在墨西哥安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛	「メキシコ」官民ノ日本公使歡迎振 並日本行答礼大使任命ノ事情ニ関シ 報告ノ件	三七七
附屬書 右報告書					三七七
一四	二六五	八月九日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國ノ對墨提案ニ関シ在墨日本公使 ノ支援要請ニ対スル回答振回訓ノ件	三七九
一四	二六六	八月九日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國ノ對墨提案ニ関シ在墨日本公使 ノ支援要請ニ対シ國務長官ニ面会回 答ノ件	三八〇
一四	二六七	八月十日	在墨西哥安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「メキシコ」内乱ニ對スル米國ノ態 度ニ関スル在墨各國公使連ノ觀察報 告並日本公使ノ執ルベキ態度ニ関シ 請訓ノ件	三八一
一四	二六八	八月十一日	在本邦米國大使ヨリ 牧野外務大臣宛	米國ガ墨國ニ派遣スル「トンド」氏 ノ資格ニ関シ在本邦米國大使ヨリ申 出ノ件	三八二
一四	二六九	八月十一日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國ノ我支援要請ニ對スル回訓ニ関 スル件	三八三
一四	二七〇	八月十一日	在墨西哥安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「メキシコ」内乱及米墨關係ニ関ス ル在墨各國公使會議ニ留保附参与方 回訓ノ件	三八三
一五	四一六	八月十一日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛	露支間蒙古協約案ノ英仏両文テキス ト問ノ齟齬ニ関ル件	五三四
一四	二七一	八月十二日	在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	米國ノ對墨提案ニ對シ列國ノ支援要 請ニ付我方ノ執ルベキ態度ニ関スル 件	三八四
三	七八	八月十三日	在本邦瑞西國代理公使ヨリ 牧野外務大臣宛	改正赤十字條約ニ對スル仏國批准書 ノ寄託調書認証謄本送付ノ件	七九
附屬書 右仏國批准書ノ寄託調書認証謄本					七九
一三	二四四	八月十三日	寺内朝鮮總督ヨリ 牧野外務大臣宛	朝鮮陰謀事件裁判ニ際シ拷問行ハレ タリト「ジュパン」アドヴァタイ 「ザ」掲載ノ寄書ニ関スル件	三五二
附屬書一 朝鮮總督府警務總長報告書					三五三

二 大邱覆審法院ニ於ケル黒川検事長論告要旨……………三五四

一四 二七二 八月十三日 牧野外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電)……………三八四

九 一四七 八月十四日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛……………一九〇

一四 二七三 八月十五日 在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)……………三八四

一五 四一七 八月十六日 在露國田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛……………五三五

一四 二七四 八月十九日 牧野外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電)……………三八五

三 七九 八月二十日 牧野外務大臣ヨリ
山本内閣総理大臣宛……………八〇

九 一六二 八月二十日 在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛……………二二二

一五 四一八 八月二十日 在中國山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛……………五三六

三 八〇 八月二十一日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦瑞西國代理公使宛……………八〇

一四 二七五 八月二十一日 牧野外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電)……………三八六

別 電

同日牧野外務大臣ヨリ珍田大使宛往電第二〇七号……………三八六
在本邦米國大使ニ対スル右回答……………三八六

一五 四一九 八月二十二日 牧野外務大臣ヨリ
在中國山座公使他宛……………五三七

七 一一二 八月二十五日 在シドニー矢田部總領事代理
ヨリ……………一五六

九 一四八 八月二十五日 森岡移民合名会社ヨリ
牧野外務大臣宛……………一九一

一二 二一八 八月二十七日 牧野外務大臣ヨリ
在本邦英、独、露、伊各國大
使及白國公使宛……………三一六

附 記

在鮮各國居留地及支那專管居留地整理ニ関シ在京中
國臨時代表馬廷亮ニ交付ノ覚書写……………三一六

一四 二七六 八月二十七日 在米國珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)……………三八七

一五 四二〇 八月二十七日 在中國山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛……………五三八

七 一一三 八月二十九日 在シドニー矢田部總領事代理
ヨリ……………一五八

附 屬 書

一九一三年砂糖栽培法……………一五九

九 一四九 八月二十九日
松井外務次官ヨリ
熊本、沖繩、山梨、福岡、福
島、宮城、鹿児島、岡山、山
口、静岡、福井、大分、広島、
愛媛、佐賀、香川各県知事宛

「ペルー」国行契約移民ノ選択ニ注
意ヲ要スル件……………一九二

九 一五〇 八月二十九日
松井外務次官ヨリ
安楽警視總監宛

「ペルー」国行契約移民ノ選択ニ注
意ヲ要スル件……………一九二

一四 二七七 八月二十九日
在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

米墨關係及訪日使節派遣ニ関シ「メ
キシコ」外務大臣談話ノ件……………三八七

一二 二一九 八月三十日
在本邦露国大使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定
書是認方ノ我提議ニ対シ回答ノ件……………三一九

九月

九 一六三 九月二日
在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

東洋移民合資会社取扱「ペルー」国
行移民到着延期ニ関スル件……………二一四

一二 二二〇 九月二日
在本邦白国公使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止下協議会ノ議定
書是認方ノ我提議ニ付本國政府ニ請
訓セル旨回答ノ件……………三二〇

一五 四二一 九月六日
在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛

露国政府在蒙外交事務官任命ノ件……………五三九

一六 四六四 九月九日
在奥洪国西臨時大使ヨリ
牧野外務大臣宛

「バグダッド」鉄道並「アルメニア」
及「シリ」ニ於ケル利権ニ関スル……………五九七
独仏協定ノ件……………

九 一五一 九月十五日
坂田通商局長ヨリ
安楽警視總監宛

「ペルー」国「モケグア」耕地行移
民ニ関スル書面契約案承認通知ノ件……………一九三

一〇 一八六 九月十六日
牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛

伯国行移民旅券ノ査証ニ関スル法令
調査回報方訓令ノ件……………二六二

一二 二二一 九月十七日
在本邦仏国大使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止下協議会議定書
是認方ノ我提議ニ対シ回答ノ件……………三二〇

一二 二二三 九月二十一日
在本邦伊国大使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止下協議会議定書
是認方ノ我提議ニ対シ承諾ノ旨回答
ノ件……………三二二

六 一〇三 九月二十四日
在バンクーバー堀領事ヨリ
牧野外務大臣宛

英領「コロンビア」州等ニ於ケル本
邦人ノ土地所有及借地ノ状況報告ノ……………二二四
件……………

附屬書 右所有地及借地地積調査書……………二二四

一〇 一八七 九月二十四日
在リオデジャネイロ野田總領
事代理ヨリ
牧野外務大臣宛

移民取扱人業務代理人ニ於テ移民保
護法規定ノ嚴守方ニ付示達及上申ノ……………二六三
件……………

七 一一四 九月二十七日
在シドニー矢田部總領事代理
ヨリ
牧野外務大臣宛

「オーストラリア」ニ於ケル真珠貝
採取日本労働者ノ雇用禁止猶予ニ関……………一六三
スル件……………

十月

一二 二二三 十月二日
在本邦米國大使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止下協議会議定書
是認方ノ我提議ニ対シ回答ノ件……………三二二

九 一六四 十月三日

川田東洋移民合資会社社長ヨリ
牧野外務大臣宛

東洋移民合資会社対「ペルー」国行
移民間書面契約承認願ノ件……………二二四

附屬書一 ペルー国行移民対東洋移民会社間契約案……………二二五

二 耕地状況書……………二二〇

三 移民百名注文書……………二二二

四 ペルー倫敦銀行東洋移民合資会社間移民供給契約詁
文……………二二三

一五 四二二 十月四日

在露国田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関シ露支交渉再開ノ件……………五三九

一二 二二四 十月八日

在本邦英国大使ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止下協議會議定書是
認方ノ我提議ニ付疑義ノ諸点ニ関シ照
会ノ件……………三二三

一四 二七八 十月十一日

在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「メキシコ」仮大統領議員百名ヲ捕
縛投獄シ議會ヲ解散ノ件……………三八八

三 八一 十月十四日

外務省省議決定

改正赤十字条約ト赤十字商標トノ関
係ニ関スル件……………八一

附記 赤十字商標ノ使用禁止ニ関スル通商局調書……………八一

九 一五二 十月十五日

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社扱「ペルー」国行第二
十六回移民到着ノ件……………一九四

一三 二四五 十月十五日

山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛

朝鮮總督暗殺陰謀事件ニ関スル高等
法院判決通報ノ件……………三五八

一五 四二三 十月十五日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支交渉情況赤付路透
通信員内報ノ件……………五三九

九 一六五 十月十六日

坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

東洋移民会社扱「ペルー」行移民渡
航期変更ノ件……………二二八

一四 二七九 十月十六日

牧野外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電)

「メキシコ」国「ウエルタ」將軍ノ
議會圧抑ニ関スル米國ノ對墨抗議書
ノ写ヲ在本邦米國大使ヨリ外務大臣
ニ手交ノ件……………三八八

附記 十月十六日在本邦米國大使ヨリ牧野外務大臣ニ手交
セル文書……………三八九

一五 四二四 十月十七日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支交渉進捗ノ状況ニ
付總統府顧問「モリソン」ノ内報報
告ノ件……………五四〇

七 一一五 十月十八日

在シドニー矢田部總領事代理
ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「クインズランド」州砂糖栽培法ノ
有色人種排斥ニ関シ英國政府ニ交渉
方稟申ノ件……………一六四

一四 二八〇 十月十八日

在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

在墨外交団ガ各本國政府ニ対シ「メ
キシコ」へ軍艦派遣方ヲ稟請セリト
ノ新聞報道ニ関スル件……………三九〇

一四 二八一 十月十九日

在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

在墨国英仏独西公使等ガ「メキシコ」
へノ軍艦派遣其他ニ付各本國政府ニ
稟請セル事実報告ノ件……………三九〇

七 一一六 十月二十日

在シドニー矢田部總領事代理
ヨリ
牧野外務大臣ヨリ
宛(電)

「ク」州砂糖栽培法ノ影響ヲ蒙ル有
色人種ニ付問合ノ件……………一六四

一五 四二五 十月二十一日 在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ノ「スタータス」ニ付露支間交
渉中ノ件……………五四一

九 一六六 十月二十三日

坂田通商局長ヨリ
安斎警視總監宛

東洋移民会社提出ノ書面契約案承認
通知ノ件……………二二八

附屬書

書面契約案承認指令書……………二二九

一四 二八二 十月二十三日

在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

十月十日ノ議會彈圧ニ付「メキシコ」
大統領ヨリ在墨外交團へ説明ノ件……………三九一

一四 二八三 十月二十三日

三井物産株式会社社長ヨリ
牧野外務大臣宛

日墨合弁ニヨル兵器製造会社設立ニ
関シ三井物産株式会社ヨリ援助方願
出ノ件……………三九一

一五 四二六 十月二十三日

在北京坂西陸軍大佐ヨリ
長谷川參謀總長宛(電)

蒙古ニ関スル露支協約交渉ニ付袁世
凱坂西大佐ニ内談ノ件……………五四一

七 一一七 十月二十四日

在シドニー矢田部總領事代理
ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「ク」州砂糖栽培法ノ影響ヲ蒙ル有
色人種ニ付回答並本邦人ニ関シ交渉
ノ件……………一六四

一四 二八四 十月二十四日

牧野外務大臣ヨリ
在墨国安達公使宛(電)

「メキシコ」国へ日本軍艦派遣問題
及「メキシコ」国答礼使節來朝ニ関
スル件……………三九二

一四 二八五 十月二十四日

在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「メキシコ」国ニ於ケル異変ニ備へ
我軍艦派遣ノ必要及共同干涉ノ可否
等ニ付意見具申ノ件……………三九三

七 一一八 十月二十五日

牧野外務大臣ヨリ
在シドニー矢田部總領事代理
宛(電)

「ク」州砂糖栽培法ノ適用ヨリ日本
人ノ除外方ニ関シ訓令ノ件……………一六五

九 一五三 十月二十七日

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

森岡移民会社扱「ペルー」国行契約
移民逃亡実情詳報ノ件……………一九四

九 一六七 十月二十七日

牧野外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

東洋移民会社移民書面契約案送付其
他ニ関スル件……………二二九

一五 四二七 十月二十七日

牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電)

露支交渉ノ実情ニ付中国当局ニ確メ
方ノ件……………五四一

一五 四二八 十月二十七日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関シ露支間ニ協議纏マリタル
大体ニ付露国公使談話ノ件……………五四二

一五 四二九 十月二十八日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

露国ハ外蒙古ガ中国領土タルヲ認メ
タル件……………五四二

一五 四三〇 十月二十八日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支協約案ノ内容ニ付
孫寶琦外交総長内談ノ件(一)……………五四二

一四 二八六 十月二十九日

牧野外務大臣ヨリ
在墨国安達公使宛(電)

「メキシコ」国近來ノ事態ニ付参考
事項隨時報告方ノ件……………三九五

一四 二八七 十月二十九日

在墨国安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

「メキシコ」大統領選挙ハ平穩ナリ
シモ政情依然不安ノ件……………三九五

一五 四三一 十月二十九日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支協約案ノ内容ニ付
孫寶琦外交総長内談ノ件(二)……………五四四

十一月

一一 二〇六 十一月二日

在亜国日置公使ヨリ
牧野外務大臣宛

「アルゼンティン」在留本邦人ノ情
況及亜国人ノ对本邦感情報告並我領
事館設置ノ必要稟申ノ件……………二九一

一四 二八八 十一月 二日 在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電) 三九六

一二 二二五 十一月 三日 在野外務大臣ヨリ 在本邦独国大使宛 三二六

三 八二 十一月 四日 在本邦独国大使ヨリ 牧野外務大臣宛 八三

附屬書 右名簿……………八三

一二 二二六 十一月 四日 在野外務大臣ヨリ 在本邦白国公使宛 三二六

一二 二二七 十一月 四日 在野外務大臣ヨリ 寺内朝鮮總督宛 三二六

附屬書 右在本邦露公使英各國大使申出ニ対スル処置ニ関スル 調書……………三二八

一四 二八九 十一月 四日 在野外務大臣ヨリ 在米國珍田大使宛(電) 三九六

一五 四三二 十一月 四日 在野外務大臣ヨリ 在中國山座公使ヨリ 蒙古ニ関スル露支宣言書及交換公文ノ公文テキスト電報ノ件……………五四四

一四 二九〇 十一月 五日 在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電) 三九七

一四 二九一 十一月 五日 在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電) 三九七

一五 四三三 十一月 五日 在中國山座公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電) 五四五

一五 四三四 十一月 六日 在露國田付臨時代理大使宛(電) 蒙古ニ関スル露支宣言書調印ノ旨及其ノ公文テキスト電報ノ件……………五四五

一五 四三五 十一月 六日 在中國山座公使ヨリ 牧野外務大臣宛 蒙古ニ関スル露支宣言書及交換公文ノ公文テキスト要領送付ノ件……………五四五

附屬書一 露支宣言書公文テキスト要領……………五四六

二 露支交換公文公文テキスト要領……………五四七

一四 二九二 十一月 七日 在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電) 「メキシコ」内乱ニ関シ仏國公使來談ノ件……………三九八

一四 二九三 十一月 九日 在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電) 十月二十六日ノ墨國選舉無効及ヒ「ウエルタ」大統領留任ニ付「メキシコ」外務大臣ヨリ外國代表者ニ通告ノ件……………三九八

一〇 一八八 十一月 十日 在野外務大臣ヨリ 在伯國烟公使宛(電) 本邦移民ニ補助金交付方伯國議會ニ運動中ナル青柳某ノ計画ニ関シ意見問合ノ件……………二六四

附記 右計画ニ関スル青柳郁太郎ヨリ大浦兼武宛電報……………二六五

一二 二二八 十一月 十日 寺内朝鮮總督ヨリ 牧野外務大臣宛 在朝鮮中國居留地整理ニ関シ在京城中國總領事ト協定ノ件……………三三四

一四 二九四 十一月 十日 在米國珍田大使ヨリ 牧野外務大臣ヨリ 米國大統領ハ「ウエルタ」「メキシコ」大統領ノ退陣ヲ要求スル意向ナル件……………三九九

別電

同日牧野外務大臣發珍田大使宛往電第二六〇号
右内告方ニ関シ米國政府ヨリ在本邦同國大使宛訓令……………三九九
ノ件

在露國田付臨時代理大使ヨリ
牧野外務大臣宛……………五四七

附屬書

露國当局ヨリ田付臨時代理大使ニ手交ノ十一月十日
露支宣言書及交換公文内報ノ件……………五四七

川田東洋移民合資会社社長ヨリ
坂田外務省通商局長宛……………一六六

在墨本邦人保護ノ為軍艦出雲派遣ニ
關スル件……………四〇〇

軍艦出雲「メキシコ」沿岸派遣ニ
關スル件……………四〇〇

軍艦出雲派遣ハ在墨本邦人保護ヲ目
的トシ他意無キ件……………四〇一

軍艦出雲「メキシコ」派遣ノ目的ニ
付任國政府ヘ説明方訓令ノ件……………四〇二

附記一 帝國軍艦「メキシコ」派遣ニ関シ十一月十二日新聞
ニ対スル外務省發表……………四〇二

二 「メキシコ」内乱ノ状況ニ付十一月十三日外務省ニ
於テ新聞記者ニ為シタル談話……………四〇三

在墨國安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)……………四〇五

在墨國安達公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)……………四〇五

財部海軍次官ヨリ
松井外務次官宛……………四〇六

在本邦英國大使ヨリ
牧野外務大臣宛……………四〇六

安藤新潟県知事ヨリ
牧野外務大臣宛……………五四九

谷口鹿児島県知事ヨリ
牧野外務大臣宛……………二〇四

牧野外務大臣ヨリ
在伯國烟公使宛(電)……………二六五

伯國行本邦移民ニ補助金交付方ノ運
動ニ関スル青柳ノ計画ハ延期ヲ可ト
スル旨回答ノ件……………二六六

青柳ノ補助金下付請願運動ノ相手方
ハ「サンパウロ」州議會ナル件……………二六六

「メキシコ」政局ニ関スル在本邦英
國大使ノ申出及我方ノ回答通報ノ件……………四〇七

帝國軍艦「メキシコ」派遣ニ関シ
「メキシコ」新聞論調報告ノ件……………四〇八

一五 四三八 十一月十四日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

露支間蒙古協約旧案ノ英仏文テキス
トノ齟齬ニ付取調方訓令ニ関シ稟申
ノ件……………五五〇

六 一〇四 十一月十五日

在バンクーバー掘領事ヨリ
牧野外務大臣宛

英領「コロンビア」州等ノ排日ニ対
処スル為日加貿易増進ノ諸施策建言
ノ件……………一二七

一〇 一九二 十一月十五日

牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電)

青柳計画ハ「サンパウルー」州行移民
契約ノ独占ヲ意図スルヤ問合ノ件……………二六七

一五 四三九 十一月十五日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

蒙古ニ関スル露支宣言書及附屬公文
北京「ガゼット」ニ漏洩掲載ノ件……………五五〇

一〇 一九三 十一月十六日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

青柳ノ提案ハ独占的性質ヲ有セザル
旨回答ノ件……………二六七

一二 二二九 十一月十七日

寺内朝鮮總督ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

在朝鮮中国居留地廃止ニ関スル協定
書ノ調印差支無キヤ問合ノ件……………三三五

一二 二三〇 十一月十七日

牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛

在朝鮮各国居留地整理ニ関スル議定
書は認ノ旨白国公使ヨリ回答ノ件……………三三五

附屬書

白国公使ノ回答書翰写……………三三五

一二 二三一 十一月十八日

牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛(電)

在朝鮮中国居留地廃止ニ関スル協定
書ノ調印ニ付回答ノ件……………三三六

一四 三〇五 十一月十七日

齋藤海軍大臣ヨリ
牧野外務大臣宛

「メキシコ」沿岸ニ派遣ノ軍艦出雲
ノ警備任務遂行ニ関スル件……………四〇九

一四 三〇六 十一月十八日

牧野外務大臣ヨリ
埴原外務書記官宛

軍艦出雲ニ搭乘「メキシコ」出張ノ
埴原外務書記官ニ対シ内訓ノ件……………四一〇

一〇 一九四 十一月十九日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

青柳ノ計画ニ関シテハ慎重考慮方稟
申ノ件……………二六七

一〇 一九五 十一月十九日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛

日伯間航海年五回ノ航路開設並本邦
移民一万人ニ伯国ヨリ補助金下付方
ニ関スル青柳計画ニ付意見稟申ノ件……………二六七

一二 二二二 十一月十九日

寺内朝鮮總督ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

在鮮中国居留地廃止協定書ノ実施規
定挿入ニ付照会ノ件……………三三七

一〇 一九六 十一月二十一日

牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛(電)

青柳計画ニ対スル考量延期ノ件……………二七五

一二 二二三 十一月二十一日

牧野外務大臣ヨリ
寺内朝鮮總督宛(電)

在鮮中国居留地廃止協定書ノ実施ニ
関スル件……………三三七

一二 二三四 十一月二十一日

寺内朝鮮總督ヨリ
牧野外務大臣宛

在鮮各国居留地廃止議定書ニ関スル
右本邦露仏英各国大使ノ申出ニ対ス
ル回答振ノ件……………三三七

一四 三〇七 十一月二十一日

牧野外務大臣ヨリ
在ホノルル永滝總領事宛(電)

軍艦出雲行動予定電報ノ件……………四一二

六 一〇五 十一月二十二日

牧野外務大臣ヨリ
在オタワ矢田總領事宛

英領「コロンビア」州ノ官有林伐採
ニ日本人使用禁止ニ付「カナダ」政
府当局ト懇談方訓令ノ件……………一三三

一〇 一九七 十一月二十二日

在伯国畑公使ヨリ
牧野外務大臣宛

青柳計画ハ実行困難ニ付猶調査ノ要
アル件……………二七五

一二 二三五 十一月二十二日

山県朝鮮總督府政務總監ヨリ
松井外務次官宛(電)

在鮮中国居留地廃止ニ関スル協定調
印済ノ件……………三三九

一二	二三六	十一月二十二日	寺内朝鮮總督ヨリ 牧野外務大臣宛	在鮮中国居留地廢止ニ関スル協定正 文送付及右承認方ニ関スル件	三三九
----	-----	---------	---------------------	-----------------------------------	-----

附屬書一	右協定	三三九
------	-----	-----

二	在朝鮮中国居留地内ノ中国領事館敷地建物及中華会 館ノ取扱方ニ関スル彼我往復公文写	三四一
---	---	-----

一四	三〇八	十一月二十二日	牧野外務大臣ヨリ 在墨国安達公使宛(電)	墨国ノ時局ニ関スル諸事実電報方訓 令ノ件	四一二
----	-----	---------	-------------------------	-------------------------	-----

一四	三〇九	十一月二十二日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	墨国ノ時局ニ関スル訓令事項ニ付回 電ノ件	四一二
----	-----	---------	-------------------------	-------------------------	-----

別電	同日安達公使發牧野外務大臣宛來電第一四六号	四一三
----	-----------------------	-----

一四	三一〇	十一月二十二日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	小銃百挺「ニューヨーク」ニテ購入 ニ付其転送ニ関シ米国政府ノ了解取 付方在米珍田大使へ依頼ノ件	四一四
----	-----	---------	-------------------------	---	-----

一五	四四〇	十一月二十二日	在中国山座公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	蒙古ニ関スル露支宣言及文書ノ正文 發表ノ件	五五一
----	-----	---------	-------------------------	--------------------------	-----

一五	四四一	十一月二十二日	在中国山座公使ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関スル露支宣言及交換公文兩 国政府ヨリ發表ニ付報告及其英訳文 及漢訳文送付ノ件	五五一
----	-----	---------	----------------------	--	-----

附記	露支宣言及交換公文ノ和訳文	五五二
----	---------------	-----

一五	四四二	十一月二十三日	在中国山座公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	蒙古軍ノ張家口近辺來襲ニ対スル中 国政府ノ措置ニ付孫外交總長ニ質問 ノ件	五五三
----	-----	---------	-------------------------	--	-----

六	一〇六	十一月二十四日	牧野外務大臣ヨリ 在オタワ矢田總領事宛	英領「コロンビア」州ニ於ケル土地 所有權禁止問題ニ関シ訓令ノ件	一三四
---	-----	---------	------------------------	------------------------------------	-----

一〇	一九八	十一月二十四日	在伯国畑公使ヨリ 牧野外務大臣宛	本邦移民ニ関スル一耕主ト新聞記者 トノ問答記事送付ノ件	二七六
----	-----	---------	---------------------	--------------------------------	-----

一〇	一九九	十一月二十四日	在伯国畑公使ヨリ 坂田通商局長宛	青柳計畫ニ関シ秘密保持方其他意見 上申ノ件	二七八
----	-----	---------	---------------------	--------------------------	-----

一五	四四三	十一月二十四日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関スル露支宣言書及外交文書 原文送付ノ件	五五四
----	-----	---------	--------------------------	----------------------------	-----

一五	四四四	十一月二十五日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関スル露支協約ニ関スル新聞 論說訳報ノ件	五五四
----	-----	---------	--------------------------	----------------------------	-----

附屬書	ノーウヲエ、ウレーミヤ新聞社説訳文	五五五
-----	-------------------	-----

一四	三二一	十一月二十八日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)	「メキシコ」政變發生ノ場合ニ於ケ ル措置振ニ付請訓ノ件	四一四
----	-----	---------	-------------------------	--------------------------------	-----

一五	四四五	十一月二十八日	在中国山座公使ヨリ 牧野外務大臣宛	蒙古ニ関スル露支協約ニ関シ國務院 ヨリ各省宛通電訳文送付ノ件	五五七
----	-----	---------	----------------------	-----------------------------------	-----

附屬書	右通電訳文	五五八
-----	-------	-----

九	一六八	十一月二十九日	牧野外務大臣ヨリ 在リマ森領事宛	「ペルー」国行移民渡航費用ニ関ス ル件	二二九
---	-----	---------	---------------------	------------------------	-----

十二月

一〇	二〇〇	十二月一日	在紐育版島總領事ヨリ 牧野外務大臣宛	南米行本邦移民漸増ノ趨勢ニ対スル 米国ノ関心ニ関スル件	二七九
----	-----	-------	-----------------------	--------------------------------	-----

附屬書一

十一月二十八日附ニューヨーク「コマーシャル」ノ
華府通信切抜……………二八〇

二 十月二十八日附ロンドン「タイムズ」通信切抜……………二八二

青柳ノ伯国行本邦移民計画ニ関シ移
民取扱人ノ意見ヲ徴シタルニ対シ答……………二八四
申ノ件

「メキシコ」政変発生ノ場合ニ関ス
ル心得ニ付回訓ノ件……………四一六

蒙古問題ノ現状ト其将来ノ趨勢ニ関
シ報告ノ件……………五五九

森岡移民会社扱「ペルー」国行第二
十七回移民到着ノ件……………二〇六

「メキシコ」在留本邦人危急ノ際英
国ノ領事又ハ軍艦ノ保護ヲ受ケタキ
旨英国政府ヘ申入方訓令ノ件……………四一六

英国ノ領事又ハ軍艦ニ依ル「メキシ
コ」在留本邦人ノ保護方ニ関スル件……………四一七

「ペルー」国行鹿兒島県移民状況ニ
関スル件……………二〇七

「ブラジル」国及「ペルー」国行移
民募集ニ関スル件……………二八六

呼倫貝爾管内ニ於テ露国人ガ蒙古側
ヨリ獲得セル利権ノ効力ニ関スル件……………五六六

露都訪問中ノ庫倫政府使節ノ使命ニ
関スル情報報告ノ件……………五六七

国内平定ノ状況ニ関シ一独新聞ノ質
問ニ対シ「メキシコ」大統領ノ与ヘ
タル答書公表ノ件……………四一七

露都滞在中ノ蒙古使節ガ蒙古政府ニ
提出セル要望ニ関スル新聞報道報告……………五六八
ノ件

露都訪問ノ蒙古使節ノ露国官民トノ
交渉及交驛ニ付報告ノ件……………五六八

ドイツ帝國宰相ノ議會ニ於ケル外交
演說報告ノ件……………五六九

附屬書

右演舌訳文……………

五九九

伯国行契約移民ノ応募情況家庭事情
及家族構成ニ関スル調査ノ結果通報……………二八七
ノ件

軍艦出雲「メキシコ」着予定日時ノ
件……………四一六

軍艦出雲ノ水兵上陸ニ関スル措置振
ニ付埴原書記官ニ訓令ノ件……………四一八

在墨日本人保護ノ為英国政府ノ執リ
タル措置英国政府ヨリ通報ノ件……………四一八

露支間ノ蒙古協約成立ガ呼倫貝爾ニ
及ボス影響ニ関スル件……………五七〇

一〇	二〇一	十二月一日	竹村移民取扱人ヨリ 坂田通商局長宛
一四	三一二	十二月二日	牧野外務大臣ヨリ 在墨国安達公使宛(電)
一五	四四六	十二月五日	在哈爾濱資本多總領事ヨリ 牧野外務大臣宛
九	一五五	十二月六日	在リマ森領事ヨリ 牧野外務大臣宛
一四	三二三	十二月六日	牧野外務大臣ヨリ 在英國井上大使宛(電)
一四	三三四	十二月八日	在英國井上大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)
九	一五六	十二月十一日	坂田通商局長ヨリ 谷口鹿兒島県知事宛
一〇	二〇二	十二月十一日	松井外務次官ヨリ 谷口鹿兒島県知事宛
一五	四四七	十二月十一日	在齊々哈爾吉原領事館事務代 理ヨリ 牧野外務大臣宛
一五	四四八	十二月十二日	在哈爾濱資本多總領事ヨリ 牧野外務大臣宛(電)
一四	三二五	十二月十四日	在墨国安達公使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)
一五	四四九	十二月十五日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛(電)
一五	四五〇	十二月十五日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛
一六	四六五	十二月十五日	在独国船越臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛

牧野外務大臣ヨリ
在伯国畑公使宛

牧野外務大臣ヨリ
在墨国安達公使宛

牧野外務大臣ヨリ
在ホノルル永滝總領事宛(電)

在英國井上大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電)

福田閣東都督府陸軍參謀長ヨ
リ
松井外務次官宛

附屬書 呼倫貝爾問題調書……………五七〇

一〇 二〇四 十二月十七日 川田東洋移民会社社長ヨリ 意見ヲ徵シタルニ對シ答申ノ件……………二八九

一五 四五二 十二月十七日 在哈爾濱資本多總領事ヨリ 呼倫貝爾(巴爾喀)ニ對スル露國ノ内意並露人ノ經營ニ關スル件……………五七三

一二 二三七 十二月十八日 寺内朝鮮總督ヨリ 在朝鮮外國居留地廢止ノ議定書承認ニ關シ獨國政府ノ回答督促方照會ノ件……………三四三

附屬書 在京城獨國總領事ヨリ獨國政府ニ提出セル報告書ノ訳文……………三四三

一五 四五三 十二月十八日 在露國田付臨時代理大使ヨリ 蒙古使節ノ對露要請ニ關スル措置ニ付露國外務省極東課長談話ノ件……………五七四

一六 四六六 十二月十八日 在興洪國西臨時代理大使ヨリ 第二バルカン戦争後ニ於ケル「ブルガリア」ノ国情ニ關シ報告ノ件……………六〇三

附記一 大正元年十二月二日附内田外務大臣發在中國伊集院公使宛送第六七号「巴爾幹事件概要」(一)及(二)送付ノ件……………六〇六

二 「巴爾幹事件概要」(三)乃至(七)……………六二一

一〇 二〇五 十二月二十二日 牧野外務大臣ヨリ 在伯國烟公使宛 青柳ノ移民計畫ニ對スル移民取扱人ノ答申書寫送付ノ件……………二九〇

一二 二三八 十二月二十三日 池辺朝鮮總督府書記官ヨリ 在鮮各國居留地内外ノ永代借地及所有地ニ關スル件……………三四六

八 一二〇 十二月二十四日 川田東洋移民合資会社社長ヨリ 坂田外務省通商局長宛 「コアウイラ」州地方在留本邦人ノ「メキシコ」内乱ニ依ル被害狀況ニ關スル現地報告提出ノ件……………一六八

附屬書 右現地報告……………一六九

一二 二三九 十二月二十四日 尾崎外務省參事官ヨリ 池辺朝鮮總督府書記官宛 在鮮各國居留地廢止ニ關シ回答ノ件……………三四七

二 七二 十二月二十五日 在米國珍田大使ヨリ 臘肭獸保護條約實施法ニ依ル陸上禁獵第一年分トシテ一万弗金券米國政府ヨリ受領ニ付請訓ノ件……………七〇

一五 四五四 十二月二十六日 在露國田付臨時代理大使ヨリ 在露蒙古使節ノ内外蒙古合併ノ熱望及之ニ對スル日露ノ態度ニ付露國外務當局者ノ談話ニ關スル件……………五七五

一五 四五五 十二月二十六日 在露國田付臨時代理大使ヨリ 蒙古ノ獨立及其ノ露支兩國トノ關係ヲ通告セル蒙古總理大臣ノ書翰転送ノ件……………五七六

附屬書 在露國日本大使宛蒙古總理大臣書翰仏訳文……………五七七

二 七三 十二月二十七日 牧野外務大臣ヨリ 臘肭獸保護條約實施法ニ依ル陸上禁獵第一年分トシテ一万弗金券米國政府ヨリ送付越ニ付其措置振ニ關シ意見問合ノ件……………七一

九 一五七 十二月二十七日 坂田通商局長ヨリ 安樂警視總監宛 「ペルー」國行契約移民逃亡始末ニ關スル件……………二〇七

九 一五八 十二月二十七日 坂田通商局長ヨリ 谷口鹿兒島県知事宛 「ペルー」國行契約移民逃亡始末ニ關スル件……………二〇八

九	一五九	十二月二十七日	坂田通商局長ヨリ 熊本、沖繩、山梨、福岡、福 島、宮城、岡山、山口、静岡、 福井、大分、広島、愛媛、佐 賀、香川各県知事宛	「ペルー」国行契約移民ノ選択ニ注 意ヲ要スル件……………二〇八
一五	四五六	十二月二十七日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 牧野外務大臣宛	露国政府蒙古ニ対スル第二次借款引 受決定ノ件……………五七九
一五	四五七	十二月二十八日	在露国田付臨時代理大使ヨリ 小池政務局長宛	内外蒙古併合問題ニ対スル露国ノ態 度ニ関スル件……………五八〇

附録 日本外交文書 大正二年 第一冊 日附索引 終

昭和三十三年三月十日印刷
昭和三十三年三月二十日発行

日本外交文書
大正二年
第一冊

不許複製

外務省 編纂
外務省 発行

印刷所 株式会社 第一印刷所
東京都中央区湊町二ノ十六